

野村夫妻も...死因国内2位「虚血性心不全」

寒い冬は注意、12月～2月に高まる発症率

プロ野球 野村克也さん死去 84歳 戦後初の三冠王

野村克也さん死去
(2020年2月11日)



野村克也さんは妻・沙知代さんと同じ虚血性心不全で亡くなった。厚生労働省の2017年のデータで心疾患(心不全)は、がんに次ぐ日本人の死因2位。著名人の死者も多く、最近では声優の白石冬美さん(享年82)、女優の生田悦子さん(同71)、芸人ポーターの武藤まき子さん(同71)ら。高齢者だけでなく、昨年11月には人気俳優の滝口幸広さんが34歳で亡くなっている。タレントの前田健さん(同44)の死因も虚血性心不全だった。

国立循環器病研究センターによれば、12月から2月の冬季は発症率が高まるという。

【原因】心臓の表面には冠動脈と呼ばれる血管がある。その血管内の壁にコレステロールなどがたまり、血液の流れを阻害。血液が流れなくなると心臓に酸素が運ばれなくなる。酸素不足になると胸痛が起き「狭心症」と呼ばれる。狭心症が進行し血管が完全に詰まると、酸素が届かなくなり心臓組織の一部が壊死(えし)する「心筋梗塞」となる。

【検査・治療】MRIで心筋の動きを検査したり、CTで冠動脈の詰まりの度合いをチェックする。治療法は、血管を広げる薬物療法、詰まった血管を拡張させる冠動脈形成術(カテーテル手術)、冠動脈バイパス手術などがある。

【予防法】野村さんは自宅の浴槽内でぐったりしていた。順天堂大医学部心臓血管外科教授の天野篤氏(64)は「動脈硬化があり心臓の働きが落ちているところに、お湯に漬かって血圧が急激に下がったのではないかと指摘した。天野氏は冬季の入浴には特に注意を促す。部屋・脱衣所と浴室の温度差で起きるヒートショックだ。「長風呂、湯温が高いのは危険。血圧上下を招く。特に独り暮らしの高齢者には、周囲の配慮が必要」と強調した。野村さんは心臓に不安があった。「高齢者は元々、加齢で血管が弱っている。まずは、生活習慣病など持病の管理をしっかりすること。適切なアドバイスがもらえるかかりつけの医者を見つけることも大切」とした。

野村克也さんが亡くなったことについてソフトバンクの王貞治球団会長は「先月、金田正一さんのお別れ会でお会いしたときは車いすだったけど元気だったからまさかと思った。同じ時代を悪戦苦闘して戦い抜いた戦友なので、本当に残念です」と話しました。野村さんとの思い出については「リーグが違ったのであまり一緒に野球をすることはなかったけれど、野村さんの家に邪魔しているところとごちそうになったり野球の話をしてたりして、なんでも話せたし、一緒に過ごす時間は楽しそうにしてくれました」と振り返りました。また、野村さんが現役時代、相手チームを惑わせた「ささやき戦術」については「なんかぶつぶつ言っていて、聞こえなかったけれど気にしなかった。それを聞いているようではバッティングできないし、引っ掛かっているようじゃ結果は出せない」と話しました。そのうえで「私は感覚的に野球をやっていたけれど、野村さんは感覚プラス頭脳的な野球をやっていたので、選手としても監督としても成功したのだと思う。本当に残念だけど、金田さんと昔話でもしてほしい」と野村さんの死を悼んでいました。

プロ野球の南海、ヤクルト、阪神、楽天で監督を務めた野村克也氏が11日午前3時30分に死去した。84歳。楽天が野村氏の死因について「虚血性心不全」だったと発表した。

「虚血性心不全」は17年12月に亡くなった沙知代夫人と同じ死因だった。

虚血性心不全は、心筋梗塞や動脈硬化などにより心臓の冠動脈が詰まったりしたために、心臓の筋肉に酸素や栄養が行き届かなくなり、心筋が動かなくなる状態。冬に多いとされる。

この日、楽天キャンプ地から戻り、自宅で対応した克則氏(現作戦コーチ)は「午前2時過ぎに電話がかかってきた。正直、急すぎて受け入れられない」と涙をぬぐった。葬儀は密葬、後日お別れ会を開くという。

プロ野球で戦後初の三冠王に輝いた名キャッチャーで、監督としても日本一に3回輝いた野村克也さんが11日、虚血性心不全のため亡くなりました。84歳でした。

野村さんは京都府出身、昭和29年に峰山高専からテスト生でソフトバンクの前身、南海に入団しました。昭和36年から8年連続でホームラン王を獲得し、昭和40年には戦後初の三冠王に輝きました。

「打ってよし守ってよし」の球史に残る名キャッチャーとなり、選手兼任監督としても8年間チームを率いて昭和48年にはリーグ優勝を果たしました。その後、ロッテと西武でプレーし、昭和55年に45歳で現役を引退しました。

通算3017試合出場は、平成27年に中日で選手兼任監督だった谷繁元信さんが更新するまで長年にわたってプロ野球記録でした。また通算2901安打、ホームラン657本、1988打点はいずれも歴代2位で、平成元年に野球殿堂入りしています。

翌年の平成2年にヤクルトの監督に就任し、データを重視した「ID野球」をチームに植え付けて3回の日本一に導くなど手腕を発揮しました。その後、阪神や楽天で監督を務め、「ばやし」と呼ばれる独特の話しぶりで選手をしった激励し、平成21年にユニフォームを脱いだあとは解説者として活躍しました。

野村さんは3年前に亡くなった妻の沙知代さんのおしどり夫婦として知られ、去年12月にはNHKの番組で沙知代さんの存在が選手時代として現役引退後も「自分が苦境になったときに前向きなことをかけて後押ししてくれる存在だった」と話していました。また先月行われた金田正一さんをしのぶ会には車いすに乗って出席していました。楽天などによりますと、野村さんは11日午前2時すぎに自宅から救急車で病院に搬送されましたが、午前3時半、虚血性心不全のため亡くなりました。84歳でした。

「ONがひまわりなら私は月見草」

野村さんの現役当時、パ・リーグは人気でセ・リーグに大きく水をあけられていました。また長くプレーした南海も本拠地がある大阪でセ・リーグの阪神と比べて存在感が薄いことを嘆いていました。

また戦後初の三冠王を達成するなど輝かしい実績をあげていた野村さんは自分自身がどんな大記録を打ちたてても報道の扱いが小さく、世間に知られることが少ないとも感じていました。

とりわけ球界の盟主・巨人、その中心的な存在のON、王貞治さん、長嶋茂雄さんへのコンプレックスを終始、持ち続け、それが野村さんにとって高みを目指し続ける大きな動機付けになったといいます。

野村さんが長嶋さん、王さんとの関係性をあらわしたことばに「王や長嶋がひまわりなら、私はひっそりと咲く月見草」というのがあります。これは昭和50年に野村さんが王さんに次いでプロ野球史上2人目となる600号ホームランを打った時に報道陣に向けて披露しました。夜中にひっそりと咲く月見草が自分で、太陽の下で咲くひまわりを長嶋さん、王さんに例え、境遇の違いをわかりやすく示したのです。